

◆ 八王子都税事務所長賞 ◆

「主役は私たちだ」

あきる野市立五日市中学校 3年 岩木 環

「税」私にとって遠いようで身近なもの。正直あまり良く感じた事はない。今まで家族と買い物をする度に「私たちはどうして十パーセントも税金を取られなくてはいけないんだ。」

「税金が無ければもっと安く買えるのに。」と何度も思ってきた。だが、今回この作文をきっかけに税というものについて真剣に考え、向き合い、税の使い道は私たちのためということに気付く事ができた。今まで私は税について中でも特に考えさせられた内容が三つある。

一つ目に、税がある事で私たち学生は義務教育を受ける事が出来ている事だ。私たちが皆、貧富関係なく義務教育を受ける事ができているのは税を教材や学校そのものに使っているからだ。世界には義務教育を受ける事ができない国も数多くある中、私たちが今、このように毎日学校に通い学問を学べる環境があるという事は、税があるお陰である。私たちがそれを当たり前と思ってはいけない、感謝をするべき大切な事だと感じた。

二つ目に日本はとても安心安全な国だ。何故日本は安心安全な国なのか。それは税金により、警察があり、公共の設備が整えられている。税がある事で私たちの生活が成り立っているのだ。私たちの住む場所を犯罪やトラブル、事故から守ってくれる警察がいて、公共の設備が整っている事で道路を安全に移動できる。税があるから今の日本があり、この恵まれた環境で生活できていると実感した。

三つ目は税を決める事などは国が行っていると思い、私たちにはあまり関係のない事だと感じていた。だが実際は、税や法律を作るのは国の機関の人ではなく、国民が選んだ国民を代表とする議員である事にとっても驚きを感じ、私にとって遠いようで身近な存在であった税が一気に近づき、私にも関係があると思えた瞬間だった。それにより、あと三年後に選挙権を持つことになる私は選挙の意味や大切さを実感した。

最後に今回「税」について見る目を変える事ができた。私たちが当たり前だと思っている生活は税金によって成り立っているのだと思い、税がある事のありがたさを感じた。そして、私たちがその当たり前を守る為に、また私たち国民の為に出来る事は十パーセントの税金を支払う事だと思う。それだけで私たち学生でも日本の明るい社会に貢献できると思うと、とても嬉しい。税とはただお金を取られる為のものではなく、私たち国民の生活をより快適なものとする事を目的とした国民の義務である。税の一番の関係者は国民だ。税の主役は国ではなく「私たち」だ。